

## 第64回全国盲人福祉大会

平成23年6月5日(日)

皆さん、おはようございます。島根県知事の溝口でございます。

ようこそ、島根県松江市にお出でくださいました。心より歓迎申し上げます。

本日は、第64回全国盲人福祉大会が、島根においてこのように盛大に開催されることを、心からお慶び申し上げます。

日本盲人会連合は、昭和23年に結成されて以来、ノーマライゼーションの理念の下に、点字図書館の運営や、文化・スポーツの振興等幅広い分野で積極的に活動を展開されておられます。

視覚障がいをお持ちの方々のためのサービス提供体制の充実に関しましても、一貫して当事者の立場から取り組まれてこられました。日本盲人会連合の皆様のご功績は誠に大きく、深く敬意を表する次第であります。

国は、当面5年間の改革の集中期間と位置づけ、障害者権利条約の締結に向けた国内法の整備をはじめ、障がい者施策の推進に向けた検討を重ねているところであります。

また、今回の大震災は障がい者の方々への避難の支援、避難所での生活、避難後の生活などにおいて、いろいろな課題を残しました。

そうした中で、共生社会の実現と視覚障がい福祉の推進を目的として、全国の視覚障がい者の方々とその支援者の方々がこのように一堂に会し、当面する諸問題について討議を重ねることは誠に意義深く、時宜を得たものであります。

共生社会の実現のためには、広く国民の間で障がいについての理解のより一層の促進が必要であります。

島根県では、鳥取県とともに、県民の方々が、様々な障がいを正しく理解し、障がいのある方への配慮やお手助けができるサポーターを養成する運動、「あいサポート運動」と呼んでいます。今年度から実施しております。

また、今大会では、地元島根の学生や市民の方など、約400人が大会ボランティアとして活躍されております。この機会にボランティアの皆さんに心から御礼申し上げます。

障がいの有無に関わらず、安全安心な暮らしが保障される社会を、私たちは共に築いていく必要があると考えます。これに向けまして私どもも一所懸命、努力して参ります。

さて、ここ松江は開府400年でいろいろな行事が行われております。この度の松江滞在をぜひお楽しみいただきたいと思います。

終わりに、この大会が実り多いものとなることを祈念申し上げますとともに、皆様のご健勝とご活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。